



小宮小学校と 五日市小学校の 統合について

平成24年4月1日に統合

小宮小学校は、「日新学舎」といって名称で、明治6年に軍道の明光院を仮校舎として開校しました。今年度で開校から138年の長い歴史のある小学校です。

小宮小学校では、これまで恵まれた自然環境を活かして、植物、動物、昆虫、野鳥、川など大自然の中でこそ学べる多彩で特色ある教育活動を開催してきました。

一方、小宮小学校の児童数は、昭和62年度までは100人を超える児童が在籍していましたが、ここ数年は急激に減少し、平成17年度からは複式学級が出現しました。平成22年度には新入学の児童がなく、全校の児童数は17名で、学級数は4学級となっています。学校の小規模化は、児童一人一人に目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすいという面がある一方で、集団の中で多様な考え方で触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすいといったマイナス面があります。また、運動会や音楽活動などの形態が取りにくいことが指摘されています。

このようなことから、教育委員会では、児童の成長のためには五日市小学校へ統合することが望ましいと判断し、保護者や地域に説明をしました。その結果、統合について保護者や地域の理解が得られたため、平成24年3月末で小宮小学校を閉校することについて市議会に諮り、統合が決定されました。

統合に向けた準備をすすめています

教育委員会では、小宮小学校と五日市小学校の統合に向けて、学校、PTA、地域の方々をメンバーとする教育環境整備検討会議を設置し、閉校記念事業や平成24年度以降の教育課程、PTAや青少健のあり方などについて検討し準備を進めています。また、両校の教職員は、統合プロジェクトとして合同授業の実施や小宮地区の特徴や伝統文化を学ぶための教材研究に取り組んでいます。

今年度4月からは、児童や保護者の不安や心配に対応するため、小宮小学校にスクールカウンセラーを配置しました。

また、児童の通学手段については、保護者からの要望を踏まえスクールバスを運行する予定です。そのため、今年度実施する五日市小学校との合同授業の際にはマイクロバスを使用して通学の体験をするなど4月から安心して学校生活が送れるよう準備を進めています。

問合せ先 教育総務課学務係

夏休み

親子料理教室



29日は「こねて混ぜて手作りピザと実験アイスクリーム」をテーマに、食俱樂部の方々と一緒に、生地から作るふわふわピザ、ABCスープ、サラダ＆オリジナルドレッシング、アイスクリームを作りました。今年も有志が集まって農作物を育てている「おれんちクラブ」のみなさんが市内の畑で育てくれた新鮮な野菜を使うことができたので、味は格別でした。

参加者からは「学校給食のメニューが作れて楽しかった」「料理を

するなかで、自然に知らない人とも話せてよかったです」などの声が沢山寄せられました。

給食センターの栄養士による食育の話では、沖縄県の文化と給食ができるまでの流れや、水と塩でなぜアイスクリームができるのかなど調理の不思議について勉強をしました。

今年の夏休み料理教室は7月27日から29日の3日間行い、児童・保護者62名と、健康づくり市民推進委員2名参加してくださいました。27日・28日は「第2弾プロの調理員さんと作ろう！地場産で給食メニュー込みご飯）、イナムドウチ（焼き込みご飯）、ゴーヤチャンプルー、パインミルクゼリーを作りました。

来年も開催予定ですので、ぜひ応募をしていただき、一緒に夏休みのひと時を過ごせたらと思っております。

来年も開催予定ですので、ぜひ応募をしていただき、一緒に夏休みのひと時を過ごせたらと思っております。

平成23年度 あきる野市教育フォーラム

今年度の教育フォーラムは、アニメ「サザエさん」のマスオさんの声を担当している増岡弘氏を講師としてお招きし、サザエさんの家族を通して、私たち一人一人がそれぞれの立場で子育てに関心をもち、「マスオさんと一緒にことばを学ぶ」講演として実施します。

入場は無料で、どなたでも入場できます。多くの方のご参加をお待ちしています。

●日時 10月15日 午後1時30分
●会場 ふれあいホール（秋川ふれあいセンター1階）
●講演 「おとなが手本のあきる野市人と人をつなぐ絆はことばです」家庭教育「サザエさん」を通じて
●講師 声優・俳優 増岡 弘氏
●問合せ先 指導室 558-124

放課後子ども教室 『あそび応援団』募集中！

子どもたちの遊び相手となつて関わっていただける『あそび応援団』（ボランティア）を募っています。9月15日の新聞折込み等にて配布していますので、ぜひ、ご覧ください。

子どもたちに昔あそびや読み聞かせ、編物、工作など教えてくださる方、子どものあそびを見守つてくださる方、ぜひ登録ください。

放課後子ども教室とは、小学校1年生から6年生までの全児童を対象に、学校の施設等を利用して、地域の方々の協力をいただきながら、子どもたちの自主的な活動を通して、豊かな放課後の環境づくりと子どもたちの安全で安心できる活動場所を提供するものです。

再生紙を使用しています

男女共同参画情報誌「f・wave (エフ・ウェイブ)」を発行しました。